

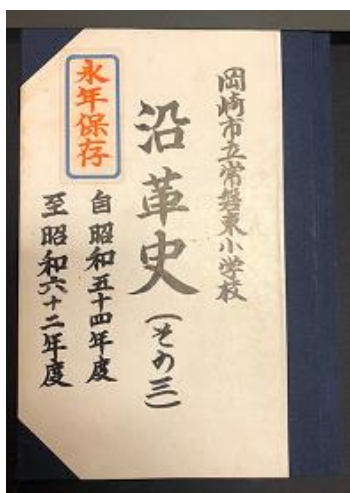
常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 2月10日(木)

その2

◇ 学校【沿革史】を 紐解いて⑦ 沿革史第3集 S54~S62

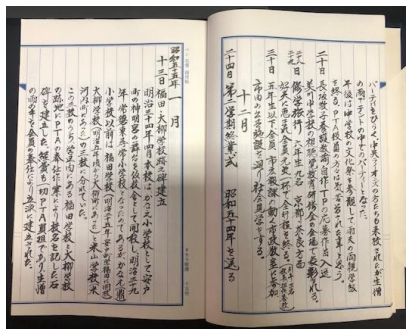


左:第3集 S54-S62 右:第1集 M25-S35

時代の異なる1集と3集の2冊を並べてみた。

永年保存のラベルといい、沿革史の表題といい、そっくり。第2集も同様。つまりこれは、第3集の記録者が、1集と2集の表装を改めて作り直したことを表している。

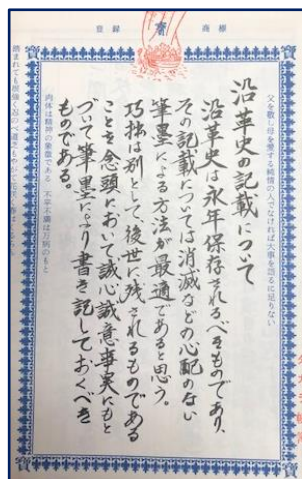
沿革史第3集の記録者、それまでの沿革史をまとめ直したのは、第3集が始まる昭和54年4月に着任された第18代校長の加藤義夫先生、ご本人であるのは間違いない。



表紙にあるように、先生は非常に達筆。そして記録も、表紙と同様の丁寧な楷書で力強く、筆墨で記されている。

昭和58年4月に山中小学校長として着任されるまで、4年間ずっとである。

驚くべきは、表紙を開いた中表紙の記録。



【沿革史の記載について】

沿革史は永年保存されるべきものであり、その記録については、消滅などの心配のない筆墨による方法が最適であると思う。

巧拙は別として、後世に残されるものであることを念頭に置いて誠心誠意 事実にもとづいて 筆墨により書き記しておくべきものである。

文末に記名は無いが、**加藤義夫** との文字が見えてきそうな強い文だ。

